

# 第6章 本格復旧・復興に向けた取組

## 1. 北海道開発局復興・強靭化推進本部の設置

北海道開発局では、北海道胆振東部地震の発生（9月6日）から1か月が経過した10月5日付で、第8期北海道総合開発計画の着実な推進及び復旧・復興並びに国土強靭化を推進するため、「北海道開発局復興・強靭化推進本部」を設置した。

同推進本部は、北海道庁の復旧・復興推進本部の取組とも連携し、復興工事に関する情報交換、事業調整の取組に対する議論を行い、被災地の着実な復旧・復興に努めている。

また、国土交通省北海道局においても、「北海道局復興・強靭化推進本部」が設置され、第8期北海道総合開発計画の着実な推進及び復旧・復興並びに国土強靭化を推進している。

表 6-1 北海道開発局復興・強靭化推進本部の体制及び取組概要

### ①北海道開発局復興・強靭化推進本部の体制

本部長：北海道開発局長

本部員：次長及び各部長等

※国土交通省北海道局においても、北海道局長を本部長とした「北海道局復興・強靭化推進本部」を同時に設置。

### ②推進本部の取組概要（当面の取組）

- 被災した地域の復旧・復興状況の把握、対応及び調整

- 被災による農林水産業や観光等、産業に関する全道及び全国への影響の把握、対応及び調整

- 「食」と「観光」を担う生産空間の維持・発展など北海道型地域構造の保持・形成及び強靭な北海道の実現の推進

- 「重要インフラの緊急点検」への対応



※本省北海道局にも、同日付で「北海道局復興・強靭化推進本部」（本部長：北海道局長）を設置。

図 6-1 開発局復興・強靭化推進本部の体制



写真 6-1 復興・強靭化推進本部実施状況

同時発表：国土交通省北海道局  
Press Release

平成30年10月5日

**北海道の復旧・復興及び国土強靭化を推進します**  
～「北海道開発局復興・強靭化推進本部」を設置～

本日、国土交通省北海道開発局では、平成30年北海道胆振東部地震や今後も懸念される大規模自然災害を見据え、第8期北海道総合開発計画の着実な推進及び復旧・復興並びに国土強靭化を推進するため、「北海道開発局復興・強靭化推進本部」を設置します。

平成28年3月に閣議決定された第8期北海道総合開発計画（以降、「第8期計画」）では、主要施設として、「農林水産業・食糧連産業の振興」「世界水準の観光地の形成」及び「強靭で持続可能な国土の形成」等を掲げ、取組を推進しているところです。

しかし、平成28年8月には北海道・東北豪雨災害、平成30年9月には平成30年北海道胆振東部地震が発生し、またその後にても大規模自然災害の発生が懸念されます。

そこで、第8期計画に掲げた「食」や「観光」等の目標達成、北海道や被災自治体などと連携した被災からの早期の復旧・復興並びに国土強靭化を推進するため、地震発生（9月6日）から1ヶ月が経過した10月5日付で「北海道開発局復興・強靭化推進本部」を設置します。

1. 「北海道開発局復興・強靭化推進本部」の体制

本部長：北海道開発局長  
本部員：次長及び各部長等

※国土交通省北海道局においても、北海道局長を本部長とした「北海道局復興・強靭化推進本部」を同時に設置します。

2. 推進本部の取組概要

- 被災した地域の復旧・復興状況の把握、対応及び調整
- 被災による農林水産業や観光等、産業に関する全道及び全国への影響の把握、対応及び調整
- 「食」と「観光」を担う生産空間の維持・発展など北海道型地域構造の保持・形成及び強靭な北海道の実現の推進
- 「重要インフラの緊急点検」への対応

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311  
 開発監理部 開発計画課 開発企画官 山本 清二（内線 5462）  
 開発監理部 開発調整課 開発企画官 平野 誠治（内線 5472）  
 北海道開発局ホームページ <http://www.hid.mlit.go.jp/>

図 6-2 報道発表資料

## 2. 直轄災害復旧及び対象事業の状況

### (1) 北海道胆振東部地震による国所管施設の被害概要

北海道胆振東部地震による北海道開発局が所管する施設の被害額は、①農業（国営かんがい排水事業）：勇払東部地区、新鵡川地区、早来地区、道央用水地区～約485億円②河川：鵡川、沙流川、茨戸川、石狩放水路～約10億円③道路：E63日高自動車道～約8億円④港湾：苫小牧港東港区、西港区～約22億円であった。

この他、北海道知事の要請を踏まえ、「直轄砂防災害関連緊急事業」を厚真川水系日高幌内川、チケッペ川、東和川で実施した（約42億円）。



図 6-3 北海道胆振東部地震による国所管施設の被害概要

### (2) 農業

#### 1) 直轄災害復旧事業 勇払東部地区（厚真町）

北海道開発局では、北海道胆振東部地震により勇払東部地区において、厚真ダムやパイプラインが被災したことから、農道の仮復旧や、撤去を予定していた取水施設の利用・被災した水路の応急復旧等により暫定的な用水確保を行い、令和元年5月初めには営農が開始される状況となった。

地域の基幹産業である農業の復興に向けて、北海道や厚真町等と連携し、農地や農業水利施設の本復旧を推進している。

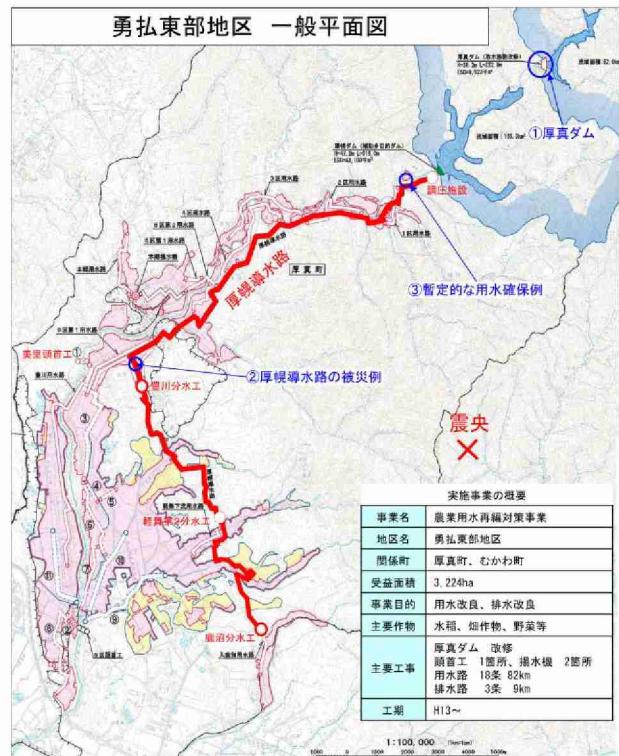


図 6-4 勇払東地区平面図



写真 6-2 厚真ダム被災概要及び復旧状況



写真 6-3 厚真導水路の暫定的な用水路の確保



写真 6-4 厚真導水路の災害復旧工事の状況

## 2) 直轄災害復旧事業 新鶴川地区（むかわ町）

北海道開発局は、用水路が崩落土砂により閉塞したため、仮復旧工事を実施し、令和元年5月初めには営農が開始される状況となった。

地域の基幹産業である農業の復興に向けて、北海道やむかわ町等と連携し、農業水利施設の本復旧を推進している。



写真 6-5 河西幹線用水路の被災状況と仮用水路



写真 6-6 被災した用水路の護岸の応急復旧

### 3) 直轄災害復旧事業 早来地区（安平町）

瑞穂ダム貯水池周辺の山林斜面が崩壊し、土砂が貯水池内に流入するとともに、ダム堤体の損傷が生じた。

これに対して、瑞穂ダムの水位を制限して運用することで、今年の営農に必要な用水を確保し、瑞穂ダム堤頂部のクラック箇所の復旧を実施している。その後、瑞穂ダムの復旧に加え貯水池内の土砂等の除去工事を開始した。

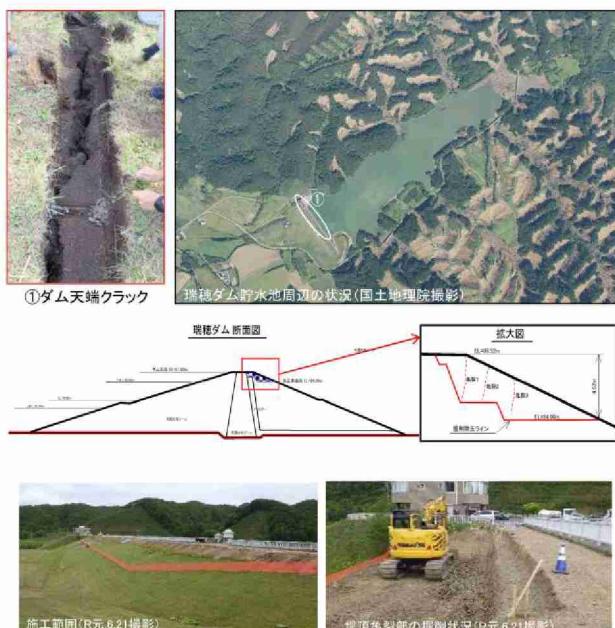


図 6-5 瑞穂ダムの被災状況と復旧工事の様子

### 4) 直轄災害復旧事業 道央用水地区（夕張市）

夕張シーパロダムにおいて、ダム貯水池法面の崩壊や管理用道路のクラックが発生した。

これに対して、ダム貯水池法面の応急復旧を行い、その後、ダム貯水池法面、管理用道路の全ての復旧を実施している。



写真 6-7 夕張シーパロダムの被災状況

### (3) 河川

北海道胆振東部地震により、堤防に重大な縦・横断亀裂が発生した鵡川に対して、直轄河川災害復旧事業により被災した堤防の復旧作業を実施し、令和元年7月30日に堤防の本復旧工事が完了した。

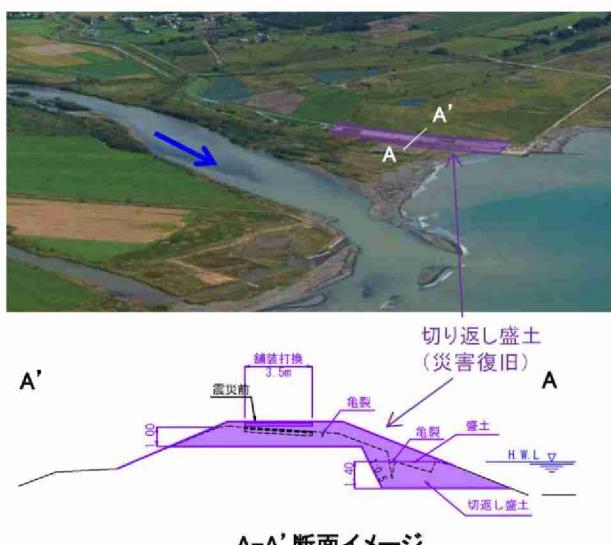


図 6-6 鵡川の本復旧工事の様子



写真 6-8 本復旧工事完了

#### (4) 港湾

北海道胆振東部地震により、岸壁及びエプロンの沈下・ひび割れ、岸壁法線の迫り出しなどの被害が生じた苫小牧港西港区2施設、東港区5施設に対する復旧工事を、平成31年3月に開始した。

西港区では、中央南埠頭のエプロンのひび割れ修復工事沈下を実施している。

東港区では、ひび割れや上部コンクリートの前出しなどの被害の生じた船だまり物揚場を復旧する工事を実施している。

これら苫小牧港の災害復旧工事は、令和2年3月までの完了を予定している。

(写真：苫小牧港湾事務所HPより)



写真 6-9 苫小牧港（西港区）の復旧状況



写真 6-10 苫小牧港（東港区）の復旧状況

### 3. 直轄砂防災害関連緊急事業

胆振東部地震により、厚真川支川の日高幌内川では幅約400mの尾根部が約500m滑動し、長さ約1,100mにわたる河道閉塞が発生した。チケッペ川、東和川においても大規模な山腹崩壊が発生し、河道内に堆積した不安定土砂等の再移動による二次災害発生のおそれがあると高まつた。

これに対し、北海道知事から国土交通大臣に対し、膨大な崩壊土砂が堆積し河道閉塞が発生している日高幌内川や厚真町市街地に近いチケッペ川、東和川について、国直轄による対策を要請があり、この要請を踏まえ、日高幌内川、チケッペ川、東和川において新たに国直轄による緊急的な砂防工事を実施した。

#### (1) 厚真川水系土砂災害復旧事業所の設置

平成30年北海道胆振東部地震により北海道勇払郡厚真町を中心に発生した土砂災害に対し、新たに直轄で土砂災害対策を進めるところから、その推進体制を強化するため、事業を担当する北海道開発局室蘭開発建設部に「厚真川水系土砂災害復旧事業所」を設置、平成31年4月に「厚真川水系砂防事業所」へ組織を強化した。



#### (2) 直轄砂防災害関連緊急事業

大規模な河道閉塞が発生した厚真川水系日高幌内川の緊急的な砂防工事に平成30年10月2日着手した。工事用道路造成を10月末、倒木処理等を11月末迄に完了、11月中旬に河道閉塞部を25m切り下げる掘削工に着手し、24時間体制で工事を実施した。

平成31年3月26日に、融雪水を安全に流すための水路工が完成しました。

また、チケッペ川、東和川においては、砂防堰堤建設のための掘削工に1月中旬に着手した。

緊急的な対策として工事している3基の砂防堰堤の内、チケッペ川の1基は5月に完成。他2基の砂防堰堤についても、7月末に完成した。

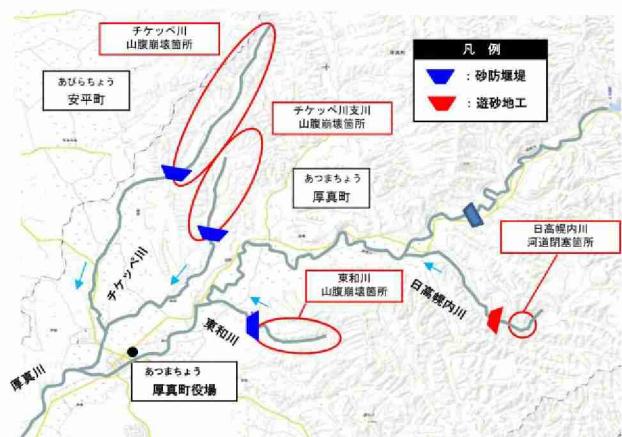


図 6-7 直轄砂防災害関連緊急事業の概要



図 6-8 日高幌内川における対策工のイメージ



写真 6-13 日高幌内川砂防堰堤工

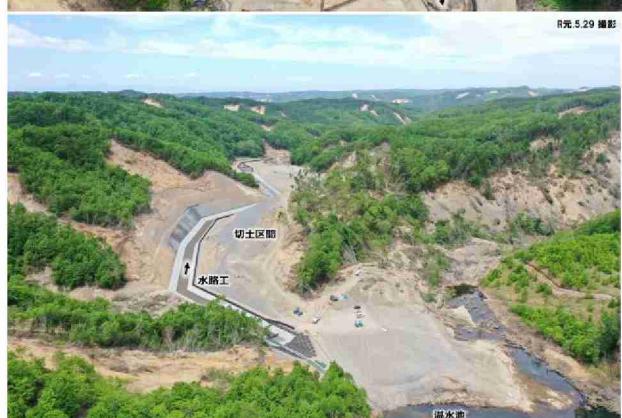
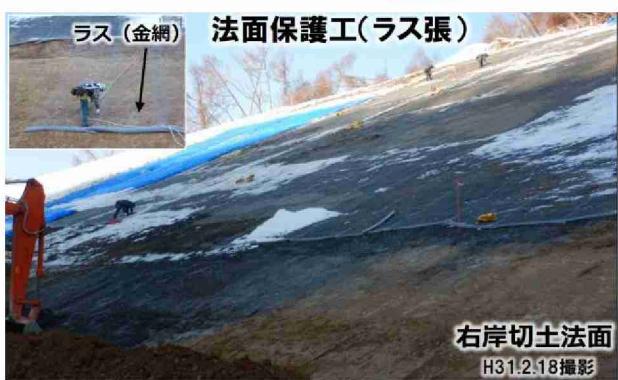
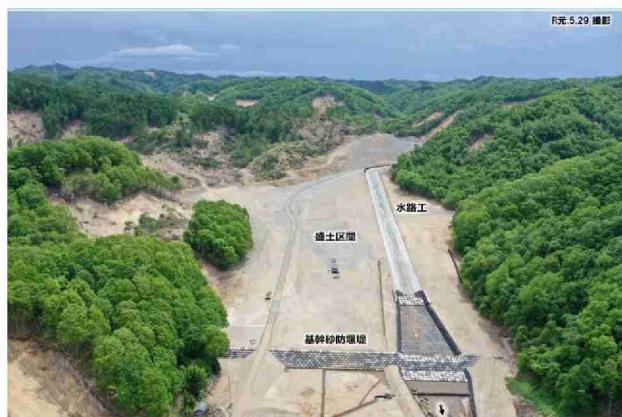


写真 6-12 日高幌内川 倒木処理・工事用道路造成・水路工・法面保護工

写真 6-14 日高幌内川完成状況



写真 6-15 チケッペ川・東和川における対策工のイメージ



写真 6-16 チケッペ川支川チカエップ川の被害の様子



写真 6-17 堰堤設置後の様子

#### 4. 災害対応振り返り

北海道開発局では、平成30年北海道胆振東部地震で北海道開発局が実施した災害対応を振り返るため、災害対応の概要を整理するとともに、災害対策本部各班における災害対応上の課題や改善策について整理を行った。また、関係者に対する体験談ヒアリングを実施した。

更に、対応状況や課題を整理し、今後の防災体制の強化に向けた方向性の共有を図ることを目的に、「平成30年北海道胆振東部地震 本局災害対策本部 振り返り会議」を実施し、その結果を基礎資料としてとりまとめを行った。



写真 6-18 振り返り会議の様子

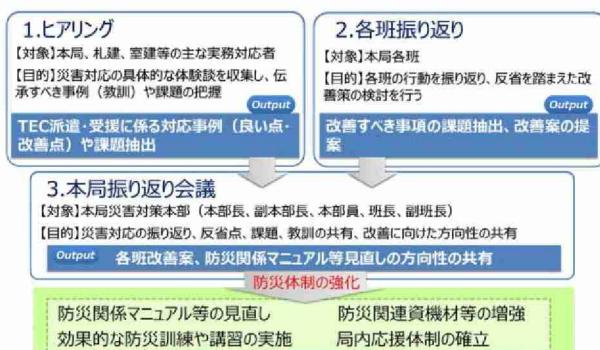


図 6-9 北海道胆振東部地震災害対応の振り返りスキーム

表 6-2 振り返り会議概要

日時：平成31年1月16日(水) 10:00～11:30
場所：北海道開発局 4階災害対策本部室
参加数：66名（本局災害対策本部構成員）
会議項目：
1. 北海道開発局の災害対応の概要 2. 各班振り返り報告 3. 改善策等の方向性の共有 • 各班に共通した改善事項 • 災害対応時の好事例 • 災害対応の継承すべき話 • 防災マニュアル等の見直し計画 • 今後の主な課題 4. 災害対策本部総括

## 5. 復興応援

北海道胆振東部地震は、宿泊施設のキャンセルなど、北海道観光に影響をもたらしていることを受けて、北海道観光の復興に向けた復興応援の取組を行いました。

### (1) 北海道まるごとフェア（東京・池袋）

国土交通省北海道局・北海道開発局では、北海道観光の復興に向けて、シニックバイウェイ北海道等と連携し、北海道の魅力と観光情報を首都圏で発信する取組を実施した。

平成30年10月12日～14日にかけて東京・池袋で行われる「北海道まるごとフェア in サンシャインシティ」の観光PRブースにおいて、北海道内ほぼ全ての地域で観光客の受入に支障がないことを動画等で紹介するとともに、北海道内の魅力的な道路景観や食をPRする展示を行った。

### (2) 北海道胆振地域復興支援フェア（台湾）

国土交通省北海道局・北海道開発局が台湾で実施している北海道産食品の輸出拡大に向けた取組と合わせ、当地で東胆振地域の「食」と「観光」をPRするための「北海道東胆振地域復興支援フェア」を平成31年2月2日～4日にかけて開催した。

北海道胆振東部地震の被災地である東胆振地域の農産品を海上コンテナにより、苫小牧港から台湾へ輸出。開催期間中の会場は平常時の約3倍にあたる2000人以上の来場者で賑わった。

会場で実施した来場者アンケートでは、約8割の方が「3町を観光してみたい」と答え、フェアを通じて東胆振地域の知名度向上に貢献した。また、販売事業者が「じゃがバター」や「とうもろこし」の仕入を増やし、「ハスカップワイン」の新規取扱を開始するなど、今後の販売展開に一層の期待感が生まれた。



写真 6-19 北海道胆振地域復興支援フェアの様子

### (3) 北海道銀行と連携した動画発信

北海道開発局は、平成30年3月に「地域活性化に資する連携協力協定」を締結している北海道銀行との連携により、道内外の北海道銀行等の店舗において、北海道内各地域からのメッセージ動画（収集協力：シニックバイウェイ北海道・北海道運輸局）を北海道銀行等の道内外の銀行800店舗以上で発信した。

対象店舗：道内外の銀行の店舗 298店 (道内 149店、道外 149店)
(内訳) 北海道銀行の店舗 132店
北陸銀行の店舗 166店
発信期間：平成30年11月8日～年内を予定
※実際の発信期間は店舗により異なる。



写真 6-20 店舗モニターでの提示イメージ

(4) 旅行者による情報発信促進の取組

北海道胆振東部地震が、宿泊施設のキャンセルなど、北海道観光に大きな影響を及ぼしたことを受け、北海道開発局は、シーニックバイウェイ北海道等との連携により、外国人ドライブ観光客が多く利用する道の駅等 10 か所に「元気です北海道／Welcome! HOKKAIDO, Japan.」のロゴが入った『道の駅 SNS パネル』を設置し、国内外の旅行者による情報発信を促進した。



図 6-10 道の駅 SNS パネルのデザイン



図 6-11 SNS パネルの仕様を促すポスター

表 6-3 道の駅 SNS パネルの設置場所

道の駅摩周温泉
道の駅ニセコビュープラザ
道の駅あさひかわ
道の駅自然体感しむかっぷ
道の駅ひがしかわ「道草館」
道の駅びえい「丘のくら」
道の駅うとろ・シリエトク
道の駅流氷街道網走
道の駅わっかない
道の駅びえい「白金ビルケ」



図 6-12 道の駅 SNS パネルの設置場所



写真 6-21 SNS パネルの設置状況(道の駅摩周温泉)

## (5) 復興応援パネル展及び復興祈念セレモニー

北海道胆振東部地震から1年を迎えるタイミングで震災を振り返るとともに、甚大な被災を受けた被災3町の復興を支援するために、地下歩行空間及び札幌ドームにおいて「平成30年北海道胆振東部地震復興応援パネル展」を開催した。

また、北海道日本ハムファイターズの試合に合わせて復興祈念セレモニーが開催され、震災当時最前線で復旧活動関係者の表彰が行われた。

表 6-4 復興応援パネル展概要

内容：発災直後からこれまでの復旧状況や、厚真町・むかわ町・安平町の復興応援に係るパネルを展示
①札幌駅前通地下歩行空間（チカホ）パネル展 期間：令和元年8月31日(土)～9月5日(木) 場所：札幌駅前通地下歩行空間（チカホ）
②札幌ドームパネル展 期間：令和元年9月6日(金)～9月8日(日) 場所：札幌ドーム 備考：北海道日本ハムファイターズ主催による「RESPECT DAYS～秋の大感謝祭」と連携して実施。



写真 6-22 復興応援パネル展の様子

表 6-5 復興祈念セレモニー概要

主催：北海道日本ハムファイターズ
月日：令和元年9月6日
場所：札幌ドーム
内容：北海道日本ハムファイターズが、地震発生直後から現地入りして復旧活動に尽力した機関への感謝と早期の復興を祈念するセレモニーを企画。
北海道開発局は、他機関とセレモニーに参加し、感謝の品を授与された。



写真 6-23 復興祈念セレモニーの状況

## (6) 忘れない「災害の記憶」パネル展

地震発生から1年を経過し、平時から大規模災害への備えを忘れないため、昨年の被災状況や関係機関の活動を伝えるパネル展を開催した。

表 6-6 忘れない「災害の記憶」パネル展概要

期間：令和元年9月4日(水)～9月11日(水)
場所：札幌第1合同庁舎1F
参加機関：開発局、国土地理院、札幌管区気象台



写真 6-24 「災害の記憶」パネル展の様子

## 1. 災害対応協力企業（感謝状授与者一覧）

国土 交通省 港湾局	一般社団法人 日本埋立浚渫協会 北海道支部	NPO 法人 北海道みなどの文化振興機構	北海道開発局防災エキスパート（港湾・空港・漁港）	北海道ポートエンジニアリング協会	苫小牧測量設計業協会
札幌	一般社団法人 建設コンサルタント協会北海道支部	一般社団法人 建設電気技術協会	一般社団法人 北海道測量設計業協会	一般社団法人 北海道地質調査業協会	朝日航洋 株式会社
	植村建設 株式会社	及川産業 株式会社	環境開発工業 株式会社	機械開発北旺 株式会社	株式会社 協栄土建
	株式会社 茅津綜業	草野作工 株式会社	株式会社 ケイジー技研	公南山明建設 株式会社	こぶし建設 株式会社
	坂本建設工業 株式会社	札幌建設運送 株式会社	株式会社 サンコー緑化	千翔エンジニアリング 株式会社	ソリトン・コム 株式会社
	大地コンサルタント 株式会社	大東工業 株式会社	株式会社 拓和	株式会社 但野三興	株式会社 玉川組
	玉田産業 株式会社	株式会社 通電技術	道建コンサルタント 株式会社	株式会社 ドーコン	トキワ地研 株式会社
	日測技研 株式会社	日本キャタピラー合同会社	日本工営 株式会社	日吉建設 株式会社	株式会社 福田水文センター
	株式会社 北開水工コンサルタント	北建工業 株式会社	北宝建設 株式会社	宮坂建設工業 株式会社	宮永建設 株式会社
	樺電工業 株式会社	株式会社 川村組土建	鈴木中川建設 株式会社	鈴谷電気工業 株式会社	株式会社 相互建設
	株式会社 高橋建設	館脇電気工業 株式会社	株式会社 道南土木	東陽建設 株式会社	日道電建 株式会社
函館	日通機工 株式会社 函館支店	星組渡辺土建 株式会社	北海道川崎建機 株式会社 函館支店	株式会社 前田組	株式会社 若狭組
	宮本土建工業 株式会社	株式会社 福島建設	菊地建設鉱業 株式会社	中村建設 株式会社	横闊建設工業 株式会社
小樽	白木建設工業 株式会社	株式会社 道智自動車	株式会社 斎藤自動車整備工場		
	一般社団法人 旭川建設業協会	赤川建設興業 株式会社	株式会社 アラタ工業	福井電機 株式会社	株式会社 小椋組
旭川	株式会社 クマザキ電工	株式会社 佐藤工建	下村電気 株式会社	株式会社 只石組	株式会社 中川建設
	野田建設工業 株式会社	株式会社 長谷川電機	北海電子工業 株式会社	株式会社 丸善建設	宮武電機 株式会社
	株式会社 山崎組	株式会社 北開水工コンサルタント			
室蘭	一般社団法人 室蘭建設業協会	特定非営利活動法人 環境防災総合政策研究機構	伊達地区石油事業協同組合	苫小牧地方石油業協同組合	日高地方石油業協同組合
	一般社団法人 建設コンサルタント協会北海道支部	一般社団法人 北海道測量設計業協会	一般社団法人 北海道地質調査業協会	一般社団法人 北海道土地改良建設協会	一般社団法人 北海道土地改良設計技術協会
	旭ノイベックス 株式会社	株式会社 表鉄工所	北日本重機 株式会社	三金工業 株式会社	株式会社 拓和
	電通設備 株式会社	西田鉄工 株式会社	日通機工 株式会社	日本キャタピラー合同会社	有限会社 振内自工
	北海電気工事 株式会社	北海道川崎建機 株式会社	防災エキスパート 青木 潤一	防災エキスパート 東志郎	防災エキスパート 石島 隆司
	防災エキスパート 石谷 隆始	防災エキスパート 市来 隆	防災エキスパート 大前 豊	防災エキスパート 岡崎 光信	防災エキスパート 間部 啓二
	防災エキスパート 桑原 誠	防災エキスパート 小山 良明	防災エキスパート 斎藤 賢悦	防災エキスパート 櫻井 博	防災エキスパート 関 新次
	防災エキスパート 高田 稔年	防災エキスパート 田中 史雄	防災エキスパート 藤田 隆保	防災エキスパート 三原 一憲	防災エキスパート 森 信幸
	防災エキスパート 渡部 優	株式会社 磐田組	株式会社 伊藤工業	株式会社 速藤組	株式会社 梶浦組
	鹿島建設 株式会社	株式会社 勝田組	門脇建設 株式会社	株式会社 冠建	有限会社 木本建設
	株式会社 草塙建設	ケイセイマサキ建設 株式会社	株式会社 小金澤組	株式会社 小林組	さくら佐藤建設 株式会社
	新和建設 株式会社	盛興建設 株式会社	株式会社 高橋建設	武ダ技建創 株式会社	株式会社 武田組
	株式会社 出口組	株式会社 手塚組	東海建設 株式会社	豊浦建設工業 株式会社	西澤建設 株式会社
	日新建設 株式会社	株式会社 早水組	株式会社 平村建設	株式会社 福田組	富士建設 株式会社
	北海土建工業 株式会社	北絃建設 株式会社	幌村建設 株式会社	株式会社 丸斗工業	株式会社 丸博野沢組
	宮坂建設工業 株式会社	株式会社 山口工業所	朝日航洋 株式会社	株式会社 アビリティ	株式会社 アルファ技研
	株式会社 胆振	上山試錐工業 株式会社	株式会社 エーティック	エスエスコンサル 株式会社	NTC コンサルタント 株式会社
	株式会社 開発工営社	北日本港湾コンサルタント 株式会社	株式会社 構研エンジニアリング	サンスイコンサルタント 株式会社	株式会社 三祐コンサルタント
	株式会社 ズコーチャ	大地コンサルタント 株式会社	株式会社 タナカコンサルタント	中央コンサルタント 株式会社	株式会社 長大
	道建コンサルタント 株式会社	株式会社 ドーコン	トキワ地研 株式会社	日本工営 株式会社	株式会社 農土コンサル
	パシフィックコンサルタント 株式会社	株式会社 福田水文センター	株式会社 フロンティア技研	株式会社 北海道朝日航洋	北海道土質コンサルタント 株式会社
	株式会社 メイセイ・エンジニアリング	八千代エンジニアリング 株式会社	株式会社 ユニオン・コンサルタント	株式会社 リブテック	和光技研 株式会社
釧路	開成建設工業 株式会社	三ツ輪建設工業 株式会社	赤石建設 株式会社	伊藤建設 株式会社	株式会社 上田組
	エル電 株式会社	小針土建 株式会社	サンエス電気通信 株式会社	明盛建設 株式会社	山本電子工業 株式会社
帶広	帯広電業協会	清水開発工業 株式会社	高堂建設 株式会社	株式会社 高橋組	東洋通工 株式会社
	株式会社 日協運輸	日通機工 株式会社 帯広支店	株式会社 フクタ	宮田帶東 株式会社	
網走	網走建設業協会	五十嵐建設 株式会社	株式会社 石井組	遠軽電機 株式会社	大原建設 株式会社
	オホーツク圏電業協会	有限会社 片山組	鐘ヶ江建設 株式会社	株式会社 管野組	株式会社 ゴダイ
	株式会社 坂本建設	佐呂間開発工業 株式会社	三九建設 株式会社	株式会社 三共後藤建設	三和工業 株式会社
	新島工業 株式会社 興部支店	株式会社 そうけん	大同産業開発 株式会社	株式会社 中川組	株式会社 西村組
	日東建設 株式会社	株式会社 野口建設	野村興業 株式会社	美帆貨物自動車 株式会社	株式会社 藤共工業
	芙蓉建設 株式会社	北進工業 株式会社	北東電気 株式会社	北海道地区舗装事業協会 網走地区	北海ロード 株式会社
	株式会社 北興	松谷建設 株式会社	株式会社 丸田組	山本電子工業 株式会社	吉井建設 株式会社
	株式会社 渡辺組				
留萌	株式会社 瀬越組	千翔エンジニアリング 株式会社	株式会社 東北建設	藤森電設 株式会社	フルノ電気工業 株式会社
	株式会社 ほっきょう留萌営業所				
	稚内	錦産業 株式会社			



札幌開発建設部での感謝状贈呈式の様子

## 2. 記者発表一覧

### ■平成 30 年北海道胆振東部地震関連 報道発表一覧（北海道開発局）

	No	件名
9/6(木)	1	「北海道開発局 災害対策本部」の設置について
	2	平成 30 年 9 月 6 日胆振地方中東部を震源とする災害情報について(第 1 報)
	3	平成 30 年 9 月 6 日胆振地方中東部を震源とする災害情報について(第 2 報)
	4	平成 30 年 9 月 6 日胆振地方中東部を震源とする災害情報について(第 3 報)
9/7(金)	5	平成 30 年北海道胆振東部地震による鶴川の緊急復旧工事について(第 1 報)
	6	港湾災害専門家による苫小牧港被災施設の現地調査実施
	7	厚真川の本日夕方から見込まれる降雨への対策について
	8	平成 30 年 9 月 6 日胆振地方中東部を震源とする災害情報について(第 4 報)
	9	鉄道・航空輸送の代替輸送手段として北海道と本州を結ぶフェリー・RORO 船が活用できます
	10	平成 30 年 9 月 6 日胆振地方中東部を震源とする災害情報について(第 5 報)
	11	大型浚渫兼油回収船「白山」による入浴・洗濯支援の実施
	12	平成 30 年 9 月 6 日胆振地方中東部を震源とする災害情報について(第 6 報)
9/8(土)	13	大型浚渫兼油回収船「白山」による入浴・洗濯・給水支援の開始
	14	北海道開発局は、組織を挙げて節電に取り組みます
	15	平成 30 年 9 月 6 日胆振地方中東部を震源とする災害情報について(第 7 報)
	16	9 月 9 日(日)の大型浚渫兼油回収船「白山」による入浴・洗濯・給水支援と緊急支援物資の輸送について
9/9(日)	17	厚真ダムの対応について(第二報)
	18	平成 30 年 9 月 6 日胆振地方中東部を震源とする災害情報について(第 8 報)
	19	平成 30 年 9 月 6 日胆振地方中東部を震源とする災害情報について(第 9 報)
	20	9 月 10 日(月)の大型浚渫兼油回収船「白山」による入浴・洗濯・給水支援について
	21	全国の T E C - F O R C E が道内各地で災害支援活動！！
	22	9 月 10 日(月)の大型浚渫兼油回収船「白山」による入浴・洗濯・給水支援について (時間変更)
9/10(月)	23	平成 30 年北海道胆振東部地震で発生した液状化被害等に関する専門家を派遣します
	24	9 月 11 日(火)の大型浚渫兼油回収船「白山」による入浴・洗濯・給水支援について
	25	平成 30 年 9 月 6 日胆振地方中東部を震源とする災害情報について(第 10 報)
9/11(火)	26	平成 30 年北海道胆振東部地震に伴う TEC-FORCE の被災状況調査結果を厚真町長に報告します
	27	川崎港東扇島地区基幹的広域防災拠点より被災地への救援物資を輸送
	28	9 月 12 日(水)の大型浚渫兼油回収船「白山」による入浴・洗濯・給水支援について
9/12(水)	29	平成 30 年 9 月 6 日胆振地方中東部を震源とする災害情報について(第 11 報)
	30	9 月 13 日(木)の大型浚渫兼油回収船「白山」による入浴・洗濯・給水支援について
	31	平成 30 年 9 月 6 日胆振地方中東部を震源とする災害情報について(第 12 報)

	No	件名
9/13(木)	32	厚真ダムの対応(第三報)
	33	被災地へ飲料水及び非常食料（460 箱）の支援物資を輸送しました
	34	9月 14 日(金)の大型浚渫兼油回収船「白山」による入浴・洗濯・給水支援について
	35	厚真ダムの対応(第四報)
	36	平成 30 年北海道胆振東部地震による鵡川の緊急復旧工事について（終報）
	37	大型浚渫兼油回収船「白山」による重油支援を行います
	38	平成 30 年 9 月 6 日胆振地方中東部を震源とする災害情報について(第 13 報)
9/14(金)	39	9月 15 日(土),16 日(日)の大型浚渫兼油回収船「白山」による入浴・洗濯・給水支援について
	40	平成 30 年 9 月 6 日胆振地方中東部を震源とする災害情報について(第 14 報)
9/16(日)	41	大型浚渫兼油回収船「白山」による入浴・洗濯・給水支援終了のお知らせ
9/17(月)	42	平成 30 年 9 月 6 日胆振地方中東部を震源とする災害情報について(第 15 報)
9/19(水)	43	国道の照明灯を通常どおり点灯させます
	44	平成 30 年 9 月 6 日胆振地方中東部を震源とする災害情報について(第 16 報)
9/21(金)	45	平成 30 年 9 月 6 日胆振地方中東部を震源とする災害情報について(第 17 報)
9/26(水)	46	平成 30 年 9 月 6 日胆振地方中東部を震源とする災害情報について(第 18 報)
9/28(金)	47	平成 30 年 9 月 6 日胆振地方中東部を震源とする災害情報について(第 19 報)
10/2(火)	48	「厚真川水系土砂災害復旧事業所」の設置について
	49	厚真川水系日高幌内川において発生した大規模な河道閉塞について緊急的な砂防工事を実施します
10/4(木)	50	平成 30 年北海道胆振東部地震に係る災害査定について
10/5(金)	51	北海道の復旧・復興及び国土強靭化を推進します
	52	平成 30 年 10 月 5 日に発生した胆振地方中東部を震源とする地震に係る災害情報について
10/10(水)	53	北海道の魅力と観光情報を首都圏で発信！！
11/1(木)	54	道の駅から国内外に向けて北海道の元気を発信！！
11/2(金)	55	平成 30 年北海道胆振東部地震により発生した土砂災害について直轄砂防災害関連緊急事業を実施します
11/9(金)	56	北海道胆振東部地震の災害復旧（農業）について
	57	港湾関係団体に感謝状を贈呈～北海道胆振東部地震の災害対応で多大な貢献～
11/16(金)	58	被災地農産品の海外輸出を通じて、復興を支援します！
12/4(火)	50	平成 30 年北海道胆振東部地震復旧活動パネル展の開催

## ■平成30年9月7日／平成30年北海道胆振東部地震による鶴川の緊急復旧工事について(第1報)

**国土交通省** Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism  
「世界の北海道」を目指して  
—北海道総合開発計画—

Press Release  
平成30年9月7日

**平成30年北海道胆振東部地震による鶴川の緊急復旧工事について(第1報)**  
～平成30年9月7日11:00時点～

9月6日に発生した平成30年北海道胆振東部地震の影響により、国管理区間の鶴川水系鶴川・秀松郡むかわ町夕見地先において、堤防縫・横断亀裂などが生じました。  
現在確認されている軽微なものも含め全18箇所のうち、堤防本体に変状がみられる4箇所について、次の出水に備え、緊急的な復旧工事に着手しました。

○水系名 鶴川水系  
河川名 鶴川  
被災箇所 ①左岸KPO.6付近  
②左岸KPO.7付近  
③左岸KPO.9付近  
④左岸KPO.0付近  
被災状況 平成30年北海道胆振東部地震の影響による堤防縫・横断亀裂など  
着手日時 平成30年9月7日(金) 10時30分

【問い合わせ】  
国土交通省 北海道開発局 建設部 河川工事課 電話(代表) 011-709-2311  
河川技術対策官 田舎 利治(内線5313)  
河川改修第1係 稲内 英治(内線5967)  
北海道開発局ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp/>

**胆振東部地震の緊急復旧工事について(第1報) [H30.9.7金]11:00時点**

国土交通省  
胆振東部地震による鶴川の緊急復旧工事について(第1報) [H30.9.7金]11:00時点

鶴川水系鶴川の国管理区間に於いて、9月6日に発生した平成30年北海道胆振東部地震による堤防縫・横断亀裂が発生したため、次の出水に備え、7日10:30に緊急復旧工事に着手しました。

堤防縫・横断亀裂発生箇所  
(鶴川左岸KPO.6付近)  
秀松郡むかわ町夕見地先

**胆振東部地震の緊急復旧工事について(第1報) [H30.9.7金]11:00時点**

国土交通省  
胆振東部地震による鶴川の緊急復旧工事について(第1報) [H30.9.7金]11:00時点

鶴川水系鶴川の国管理区間に於いて、9月6日に発生した平成30年北海道胆振東部地震による堤防縫・横断亀裂が発生したため、次の出水に備え、7日10:30に緊急復旧工事に着手しました。

堤防縫・横断亀裂発生箇所  
(鶴川左岸KPO.6付近)  
秀松郡むかわ町夕見地先

## ■平成 30 年 9 月 7 日／港湾災害専門家による苫小牧港被災施設の現地調査実施



平成 30 年 9 月 7 日

**港湾災害専門家による苫小牧港被災施設の現地調査実施**

～国際コンテナターミナル等被災施設の早期復旧に向けた技術支援を要請～

平成 30 年北海道胆振東部地震により液状化による被災を受けた国際コンテナターミナルをはじめとする苫小牧港施設の被災箇所の早期復旧に向け、高度な技術的判断に基づく助言を受けるため、国土技術政策総合研究所、(国研)海上・港湾・航空技術研究所港湾空港技術研究所及び(国研)土木研究所寒地土木研究所に対して、現地調査実施における港湾災害専門家の派遣を要請しました。

日 時：平成 30 年 9 月 7 日（金）14：00 開始予定

調査箇所：苫小牧港東港区国際コンテナターミナルなど苫小牧港東港区の被災箇所  
(別紙 1 参照)

調査体制：<港湾災害専門家>

- ・国土交通省 國土技術政策総合研究所
- ・国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所港湾空港技術研究所
- ・国立研究開発法人 土木研究所寒地土木研究所

<施設保有・管理者>

- ・苫小牧港管理組合
- ・国土交通省 北海道開発局

【問い合わせ先】 国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311  
港湾空港部 空港・防災課 港湾保安管理官 清藤敦志（内線 5622）  
港湾空港部 漆喰建設課 梶長袖俊 田川人土（内線 5625）

北海道開発局ホームページ <http://www.budget.go.jp>




■平成 30 年 9 月 7 日／厚真川の本日夕方から見込まれる降雨への対策について

国土交通省  
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism  
Press Release  
「世界の北海道」を目指して  
－北海道総合開発計画－  
平成 30 年 9 月 7 日

**厚真川の本日夕方から見込まれる降雨への対策について**

北海道開発局では、9月6日に発生した平成30年度北海道胆振東部地震による厚真川の本日夕方から見込まれる降雨への対策（9月7日13時30分現在）を取りまとめましたので、別紙のとおりお知らせします。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311  
農業水産部 農業設計課 農業企画官 伊藤 久司（内線 5552）  
建設部 河川管理課 河川情報管理官 大東 浩一（内線 5322）  
北海道開発局ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp>

**厚真川の本日夕方から見込まれる降雨への対策**

**厚真ダムの現状**

- ・厚真ダムの洪水吐は半分程度の断面が確保されていることを確認済み
- ・放流ゲートの操作室被災のため利水放流管からの放流量増加は望めない（現状 5 m<sup>3</sup>/s 程度）

**厚真ダムの対策**

- ・水位の観測の実施（投下式水位計の投入等）（調整中）
- ・ブルーシートによる洪水吐からの越水による本体侵食防止について実施予定
- ・下流からのアクセス路の整備と洪水吐への流入土砂等の除去（人命救助を優先しつつ着手）（調整中）
- ・なお、上記対策は陸上自衛隊の全面協力の下、実施予定

**厚真川の河道閉塞対策**

- ・北海道によって閉塞した 3 カ所の対策を実施中  
(低水路部の閉塞対策完了 2 カ所、本日完了予定 1 カ所)

**下流への情報連絡体制の構築**

- ・水位観測による下流（自治体、救助等作業者）への避難情報の提供

厚真ダム発災前



厚真ダム発災後 堤体下流側から撮影



■平成30年9月7日／鉄道・航空輸送の代替輸送手段として北海道と本州を結ぶフェリー・RORO船が活用できます

**鉄道・航空輸送の代替輸送手段として  
北海道と本州を結ぶフェリー・RORO船が活用できます**  
(平成30年北海道胆振東部地震関係)

本日、国土交通省において、平成30年北海道胆振東部地震の影響による北海道と本州を結ぶ旅客鉄道・貨物鉄道や新千歳空港における被害により、人流・物流に混乱が発生していることに伴い、代替輸送手段として活用可能なフェリー・RORO船の航路網について、別紙のとおり発表されましたので、お知らせいたします。

なお、フェリー・RORO船は緊急物資や緊急車両の輸送に貢献することも可能です。

現時点で、フェリー・RORO船の運航は一部を除き（※）平常どおり行われております。

※ 詳細は、別添資料をご確認ください。

【問い合わせ先】

国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311
港湾空港部 港湾計画課 古屋（内線 5614）、浜田（内線 5618）
国土交通省 北海道運輸局 電話（直通）011-290-1011
道事務局 旅客・船舶産業課 銀田

**鉄道・航空輸送の代替輸送手段として  
北海道と本州を結ぶフェリー・RORO船が活用できます**  
(平成30年北海道胆振東部地震関係)

- 平成30年北海道胆振東部地震による北海道と本州を結ぶ旅客鉄道・貨物鉄道や新千歳空港における被害により、人流・物流に混乱が発生しています。
- 代替輸送手段として、フェリー・RORO船を利用した海上輸送を活用することができます。北海道と本州を結ぶフェリー・RORO船の航路網についてお知らせします。
- また、フェリー・RORO船は緊急物資や緊急車両の輸送に貢献することも可能です。
- 現時点で、フェリー・RORO船の運航は一部を除き（※）平常どおり行われております。

■ 北海道と本州を結ぶフェリー・RORO船の航路網  
別添のとおり

・便数、ダイヤ、のりば等の詳細な情報は、別添リンク先の各社のホームページをご覧下さい。

※道内でフェリー・RORO船が寄港する港湾のうち、苫小牧港は西港区西ふ頭、東ふ頭、入船ふ頭、勇払ふ頭等の一部において、諫早港は西港区第1埠頭及び第2埠頭等の一部において、龍飛の供給港等の一部において、船橋の入港が避けられています（それ以外のふ頭においては通常通り入港が行われています）

問合せ先：

海事局 内航課 旗艦能路活性化推進室 上野
T E L : 03-5253-8111（内線 4352）、03-5253-8625（直通）
F A X : 03-5253-1652
港湾局 計画課 企画室 憲見
T E L : 03-5253-8111（内線 46349）、03-5253-8670（直通）
F A X : 03-5253-1650
北海道局 港波課 森田
T E L : 03-5253-8111（内線 52512）、03-5253-8785（直通）
F A X : 03-5253-1671

### 国土交通省 北海道と本州を結ぶフェリー航路

番号	事業者名	航路名	船路名
①	新日本海フェリー(株)	八戸港～青森港	小樽～舞鶴 小樽～新潟
②	商船三井フェリー(株)	新潟～新潟港	吉小牧～新潟 吉小牧～大洗
③	太平洋フェリー(株)	仙台港～仙台	吉小牧～仙台～名古屋
④	川崎汽船(株)	八戸港～八戸	吉小牧～八戸 室蘭～宮古
⑤	津軽海峡フェリー(株)	函館～青森	函館～大間
⑥	北日本海運株	函館～青森	※北日本海運と共栄運輸との共同運航
⑦	共栄運輸(株)		

【2018年9月現在】出典：国土交通省調べ

### 国土交通省 北海道と本州を結ぶフェリー航路のダイヤ①

番号	事業者名	航路名	上り	下り	運航日
(4) 川崎汽船(株)	吉小牧～八戸	八戸港	08:45 13:00 18:00 20:00	08:45 13:00 18:00 09:00	毎日 毎日 毎日 毎日
	室蘭～宮古	室蘭港	07:35 12:30 18:00 20:00	07:35 12:30 18:00 09:00	毎日 毎日 毎日 毎日
	函館～青森	函館港	06:30 11:30 16:30 20:30	06:30 11:30 16:30 09:00	毎日 毎日 毎日 毎日
	北日本海運(株)	八戸港～八戸	07:00 12:00 17:00 22:00	07:00 12:00 17:00 22:00	毎日 毎日 毎日 毎日
(5) 津軽海峡フェリー(株)	函館～青森	青森港	06:00 11:00 16:00 21:00	06:00 11:00 16:00 21:00	毎日 毎日 毎日 毎日
	青森～新潟	新潟港	06:00 11:00 16:00 21:00	06:00 11:00 16:00 21:00	毎日 毎日 毎日 毎日
	新潟～大間	大間港	06:00 11:00 16:00 21:00	06:00 11:00 16:00 21:00	毎日 毎日 毎日 毎日
	大間～函館	函館港	06:00 11:00 16:00 21:00	06:00 11:00 16:00 21:00	毎日 毎日 毎日 毎日
(6) 共栄運輸(株)	八戸港～大間	大間港	07:00 12:00 17:00 22:00	07:00 12:00 17:00 22:00	毎日 毎日 毎日 毎日
	大間～八戸	八戸港	07:00 12:00 17:00 22:00	07:00 12:00 17:00 22:00	毎日 毎日 毎日 毎日
	八戸～新潟	新潟港	07:00 12:00 17:00 22:00	07:00 12:00 17:00 22:00	毎日 毎日 毎日 毎日
	新潟～八戸	八戸港	07:00 12:00 17:00 22:00	07:00 12:00 17:00 22:00	毎日 毎日 毎日 毎日

### 国土交通省 北海道と本州を結ぶフェリー航路の各社ホームページ

番号	事業者名	航路名	URL
①	新日本海フェリー(株)	<a href="http://www.snf.jp/">http://www.snf.jp/</a>	
②	商船三井フェリー(株)	<a href="https://www.sunflower.co.jp/">https://www.sunflower.co.jp/</a>	
③	太平洋フェリー(株)	<a href="http://www.taiheiyo-ferry.co.jp/">http://www.taiheiyo-ferry.co.jp/</a>	
④	川崎汽船(株)	<a href="https://www.silverferry.jp/">https://www.silverferry.jp/</a>	
⑤	津軽海峡フェリー(株)	<a href="https://www.tsugarukaisai.co.jp/">https://www.tsugarukaisai.co.jp/</a>	
⑥	北日本海運(株)	<a href="http://www.bnkyo.com/">http://www.bnkyo.com/</a>	
⑦	共栄運輸(株)	<a href="http://www.seikan-ferry.co.jp/">http://www.seikan-ferry.co.jp/</a>	

※詳しくは、各社のHPをご確認下さい。

### 国土交通省 北海道と本州を結ぶフェリー航路のダイヤ②

番号	事業者名	航路名	上り	下り	運航日
(5) 北日本海運(株)	函館～青森	青森港	2:00 4:30 8:30 12:10	2:00 4:30 8:30 12:10	毎日 毎日 毎日 毎日
	青森～函館	函館港	11:35 14:35 18:00 20:30	11:35 14:35 18:00 20:30	毎日 毎日 毎日 毎日
(6) 共栄運輸(株)	八戸港～新潟	新潟港	9:30 13:00 18:00	9:30 13:00 18:00	毎日 毎日 毎日
	新潟～八戸	八戸港	14:10 18:00	14:10 18:00	毎日 毎日

90

**北海道と本州を結ぶ主要なRORO船の航路**

【2018年9月現在】出典：国土交通省調べ

**北海道と本州を結ぶ主要なRORO船の航路の主なダイヤ**

番号	事業者名	URL	航路名
①	近海郵船(株)	<a href="http://www.kyk.co.jp/service/roro-service/">http://www.kyk.co.jp/service/roro-service/</a>	敦賀～苫小牧
②	川崎近海汽船(株)	<a href="https://www.kawakin.co.jp/service/domestic/">https://www.kawakin.co.jp/service/domestic/</a>	常陸那珂～苫小牧 ※江戸川港と川崎近海汽船の共同運航
④	川崎近海汽船(株)	<a href="http://www.kawakin.co.jp/service/domestic/">http://www.kawakin.co.jp/service/domestic/</a>	日立～釧路
⑤	日本通運(株)	<a href="https://www.nittsu.co.jp/umi/akashia.html">https://www.nittsu.co.jp/umi/akashia.html</a>	東京～苫小牧～釧路
⑥	栗林商船(株)	<a href="http://www.nipponmarine.co.jp/business/cargo_liner.html">http://www.nipponmarine.co.jp/business/cargo_liner.html</a>	苫小牧～東京～清水 ～名古屋～大阪
⑦	プリンス海運(株)	<a href="https://www.kuribayashishosen.com/">https://www.kuribayashishosen.com/</a>	川崎～追浜～仙台～苫小牧～八戸

**北海道と本州を結ぶ主要なRORO船の航路の各社ホームページ**

番号	事業者名	URL
①	近海郵船(株)	<a href="http://www.kyk.co.jp/service/roro-service/">http://www.kyk.co.jp/service/roro-service/</a>
②	川崎近海汽船(株)	<a href="https://www.kawakin.co.jp/service/domestic/">https://www.kawakin.co.jp/service/domestic/</a>
⑤	日本通運(株)	<a href="https://www.nittsu.co.jp/umi/akashia.html">https://www.nittsu.co.jp/umi/akashia.html</a>
⑥	栗林商船(株)	<a href="http://www.nipponmarine.co.jp/business/cargo_liner.html">http://www.nipponmarine.co.jp/business/cargo_liner.html</a>
⑦	プリンス海運(株)	<a href="https://www.kuribayashishosen.com/">https://www.kuribayashishosen.com/</a>

**北海道と本州を結ぶ主要なRORO船の航路の主なダイヤ**

番号	事業者名	発港	出港日	乗船期	経由港	着港	到着日	萬能箱
①	近海郵船(株)	苫小牧 敦賀	毎日(日曜除く) 1:00	20:30 —	—	敦賀	翌日	21:00
②	川崎近海汽船(株)	常陸那珂 栗林商船(株) 苫小牧	毎日(土曜除く) 1:15 1:30	23:00 — —	— — —	苫小牧	翌日	20:15
③	川崎近海汽船(株)	苫小牧	毎日(土曜除く) 1:30	23:45 —	—	常陸那珂 栗林商船(株)	翌日	22:00
④	川崎近海汽船(株)	釧路	毎日(土曜除く) 10:00	—	—	栗林商船(株)	翌日	19:30
⑤	日本通運(株)	東京 苫小牧 水戸	月・火・水 金・日 木	14:00 21:30 17:30	— — —	日立 苫小牧 栗林商船(株)	翌日	21:45
⑥	栗林商船(株)	大阪 名古屋 苫小牧 水戸	火・金 木 土 木	20:15 11:00 18:00 20:30	— — — 事点制台	東京 大坂 名古屋 東京・横浜 大坂	翌日	14:00
⑦	プリンス海運(株)	川崎 追浜	月 木	12:00 17:00	— 名古屋・東京 東京・横浜 八戸・川崎 追浜	仙台 苫小牧 水戸 仙台 追浜	月 木 土 水 月	翌日

※掲載しているダイヤは一部であり、詳しくは各社のHPをご確認下さい。

番号	事業者名	URL
①	近海郵船(株)	<a href="http://www.kyk.co.jp/service/roro-service/">http://www.kyk.co.jp/service/roro-service/</a>
②	川崎近海汽船(株)	<a href="https://www.kawakin.co.jp/service/domestic/">https://www.kawakin.co.jp/service/domestic/</a>
⑤	日本通運(株)	<a href="https://www.nittsu.co.jp/umi/akashia.html">https://www.nittsu.co.jp/umi/akashia.html</a>
⑥	栗林商船(株)	<a href="http://www.nipponmarine.co.jp/business/cargo_liner.html">http://www.nipponmarine.co.jp/business/cargo_liner.html</a>
⑦	プリンス海運(株)	<a href="https://www.kuribayashishosen.com/">https://www.kuribayashishosen.com/</a>

## ■平成 30 年 9 月 7 日／大型浚渫兼油回収船「白山」による入浴・洗濯支援の実施

Press Release  
国土交通省  
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism  
平成 30 年 9 月 7 日

### 大型浚渫兼油回収船「白山」による入浴・洗濯支援の実施

～平成 30 年北海道胆振東部地震に関する被災地支援～

北陸地方整備局新潟港湾・空港整備事務所所属の大型浚渫兼油回収船「白山（はくさん）」は、9月9日（日）から苫小牧港で被災地の皆さんへの入浴・洗濯支援を行います。

また、新潟港から飲料水や食料などの支援物資を海上輸送し、9月8日（土）に苫小牧港から被災地に向けて陸上輸送を行います。

- 場所**  
苫小牧港（接岸場所は調整中のため、決まり次第追ってお知らせいたします。Twitterでもお知らせします。）
- 人浴・洗濯支援の内容**  
下記のとおり「白山」の船内を利用した入浴・洗濯支援を行います。

入浴支援：一回の入浴は約5名同時に可能です。男女交代で入浴時間帯を分けます。  
洗濯支援：4台の洗濯機を交代で使用できます。

利用期間：9月9日（日）～9月12日（水）  
(予定：決まり次第追ってお知らせいたします。Twitterでもお知らせします。)  
利用時間：未定（決まり次第追ってお知らせいたします。Twitterでもお知らせします。）

※1：豪雪、水切れや暴天候等により、支援活動を中断・中止する場合があります。  
※2：駐車場が混雑し、お待ちいただく可能性がございます。  
※3：国土交通省北海道開発局 Twitter アカウント：[https://twitter.com/hkd\\_kaihatsu](https://twitter.com/hkd_kaihatsu)

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311  
港湾空港部 空港・防災課 課長補佐 日色 徳章（内線 5632）  
港湾空港部 空港・防災課 防災情報係長 鈴木 康徳（内線 5669）

国土交通省 北陸地方整備局 電話（代表）026-280-8761  
港湾空港部 海洋環境・技術課長 山崎 一雄

## ■平成 30 年 9 月 8 日／大型浚渫兼油回収船「白山」による入浴・洗濯・給水支援の開始

Press Release  
国土交通省  
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism  
「世界の北海道」を目指して  
－北海道開拓開拓計画－  
平成 30 年 9 月 8 日

### 大型浚渫兼油回収船「白山」による入浴・洗濯・給水支援の開始

～平成 30 年北海道胆振東部地震に関する被災地支援～

北陸地方整備局所属の大型浚渫兼油回収船「白山（はくさん）」は、9月8日（土）から苫小牧東港で被災地の皆さんへの入浴・洗濯・給水支援を開始いたします。

- 場所**  
苫小牧港東港 苫小牧港国際コンテナターミナル -14m 岸壁（別図参照）
- 人浴・洗濯・給水支援の内容**  
以下のとおり、入浴・洗濯・給水支援を行います。なお、船内は狭船部、段差が多く存在するため、介助が必要な方、お子様単独での利用は困難な状況です。ご理解賜りますようお願い申し上げます。

利用日：9月8日（土）

・入浴支援：一回の入浴は約5名同時に可能です。下記時間帯に男女別に入替え制となります。  
利用時間 17:00 ～ 19:30 男性 (受付 16:50～21:30、受付順にご案内)  
18:30 ～ 19:30 女性  
19:30 ～ 21:00 男性  
21:00 ～ 22:00 男性

・洗濯支援：4台の洗濯機を交代で使用できます。  
利用時間 17:00 ～ 22:00

・給水支援：給水用の容器を各自にてご持参ください。  
利用時間 17:00 ～ 22:00

- 注意事項**
  - 9日以降の予定については、改めてお知らせいたします。
  - 北陸地方整備局のTwitterでもお知らせしています。
  - 水切れや暴天候等により、支援活動を中断・中止する場合があります。
  - 混雑状況により、お待ちいただくことがございます。
  - 替えつけられているシャンプー、リンス及びボディーソープをご利用いただけます。
  - 携帯電話の充電を行なうことが可能です。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311  
港湾空港部 空港・防災課 課長補佐 日色 徳章（内線 5632）  
港湾空港部 空港・防災課 防災情報係長 鈴木 康徳（内線 5669）

別紙

出展：国土地理院ホームページ

[別添]

国土交通省北海道開発局港湾空港部空港・防災課 鈴木 宛て (FAX 011-709-2147)  
(メール suzuki-y22em@mlt.go.jp)

**申込書（報道関係者）**

「大型液体供油回収船「白山」による入浴・洗濯支援の開始」について、取材を希望する場合は、本様式により、上記宛先までメール又はFAXでお申込みください。  
申込締切は、9月8日（土）16:00です。

■会社名及び部署名
■取材者 氏名・氏名（全員の役職・氏名を記載願います）
① (代表者) _____
② _____
③ _____
④ _____
■テレビカメラ待ち込みの有無（該当するものに○を付けてください）
有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
■連絡先（代表者の連絡先）

※ご記入いただいた個人情報については、本件に関する連絡以外では使用いたしません。

**国土交通省**  
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism  
Press Release  
平成30年9月8日

**北海道開発局は、組織を挙げて節電に取り組みます**

平成30年北海道胆振東部地震による大規模停電を受け、北海道開発局は、下記のとおり、管理する道路やトンネルの照明点灯の工夫、全道に立地する庁舎の節電の徹底等、組織を挙げて節電に取り組みます。

ドライバーの皆様におかれましては、夕方の早めのライト点灯など、歩行者や他の走行車両に十分注意して走行していただけようお願いします。

節電の取組みの進展をご理解のうえ、ご協力をお願いします。

記

**○ 節電のための具体的な取組**

- ・道路照明灯  
道路照明灯(約4万灯)のうち、交通安全上必要最小限の箇所である交差点部やランプ台流部などを除く、約半数の照明灯を消灯します。
- ・トンネルの照明  
全てのトンネル(272箇所)において、通常、トンネル入口部は明るい照明にしていますが、節電のため、夜間と同程度に減光します。
- ・道路情報板  
全ての道路情報板(1,100面)において、通行止めなど緊急情報の提供時以外は消灯します。
- ・北海道開発局庁舎の節電等の徹底  
北海道開発局の全庁舎において、執務エリアの照明明引き、使用していないエアコンの消灯徹底、長時間離席時の電源オフなどを実施します。
- また、北海道開発局が保有する自家発電機を稼働させ、事務事業に必要な電力をまかなうことで、商用電力の使用を極力控えます。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 電話 (代表) 011-709-2311 (行舎関係等) 問合せ窓口 会計課 課長補佐 小室 直紀 (内線 5234) (燃気設備関係) 事業振興部 機械課 燃気設備官 中林 道哉 (内線 5331) (道路関係) 建設部 道路維持課 課長補佐 高山 博幸 (内線 5384) 建設部 道路維持課 課長補佐 布施 錠 (内線 5821)
【北海道開発局ホームページ】 <a href="http://www.lkt.mlit.go.jp">http://www.lkt.mlit.go.jp</a>

## 参考資料

**国土交通省** Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism  
「世界の北東端」を目指して  
—おもてなしと資源を創造—

Press Release  
平成30年9月8日

**9月9日(日)の大型汎用油回収船「白山」による入浴・洗濯・給水支援と緊急支援物資の輸送について**

～平成30年北海道胆振東部地震に関する被災地支援～

北陸地方整備局所轄の大型汎用油回収船「白山（はくさん）」は、9月9日（日）も苫小牧港東港において被災地の皆さんへの入浴・洗濯・給水支援を実施します。  
また、緊急支援物資の輸送を同日8：00から実施します。

1. 場所  
苫小牧港東港 苫小牧港國際コンテナターミナル -14m岸壁（別図参照）

2. 入浴・洗濯・給水支援  
以下のとおり、入浴・洗濯・給水支援を行います。なお、船内は狭隘船、段差が多く存在するため、介助が必要な方、お子様連れの方の利用は困難な状況です。ご理解願りますようお願い申し上げます。  
・利用日：9月9日（日）  
・入浴支援：一回の入浴は約5名同時に可能です。下記時間帯に男女別の入替え制となります。  
　利⽤時間：14:30～15:30 男性 14:30～15:30 男性 (受付時間 12:50～19:30)  
　15:30～17:00 女性 17:00～18:00 男性  
　18:00～19:00 女性 19:00～20:00 男性  
・洗濯支援：4台の洗濯機を交代でご利用ください。  
利⽤時間：13:00～20:00  
・給水支援：給水用の容器を各自にてご持参ください。  
利⽤時間：13:00～20:00

3. 緊急支援物資輸送  
以下のとおり、「白山」からの緊急物資輸送を日本埋立開発株会北海道支店の協力により行います。  
苫小牧港國際コンテナターミナルにて下ろしを行い、北海道生活物資等一次荷役拠点 第二号倉庫（苫小牧市開港町1番地）へ支援物資を輸送します。  
時間：8時00分～  
場所：苫小牧港東港 苫小牧港國際コンテナターミナル -14m岸壁

4. 注意事項  
1. 10日以降の予約についても、改めてお知らせいたします。  
2. 北海道開発局のTwitterでもお知らせしています。  
ツイッターアカウント: <https://twitter.com/mitsuijapanatsu>  
3. 水辺や海上橋脚に近い、支援活動を中心とする場合はあります。  
4. 湿度状況により、お待ちいただくことがあります。  
5. 防暑対策のためシャンソン、リンク及びボディーソースをご利用いただけます。  
6. 携帯電話の充電を行うことができます。

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311  
港湾空港部 空港・防災課 課長補佐 白色 稔彦（内線 5632）  
港湾空港部 空港・防災課 防災行動係 鈴木 勝理（内線 5669）  
北海道開発局ホームページ <http://www.hid.mlit.go.jp/>

別紙

※入浴・洗濯のご利用は受付時の先着順となります。

出展：国土地理院ホームページ

■会社名及び部署名

■取材者：姓氏・氏名（全員の登録、氏名を記載願います）

① \_\_\_\_\_  
② \_\_\_\_\_  
③ \_\_\_\_\_  
④ \_\_\_\_\_

■テレビカメラ持ち込みの有無（該当するものに印をつけてください）  
有・無

■連絡先（取材者の連絡先）

※ご記入いただいた個人情報については、本件に関する連絡以外では使用いたしません。

**国土交通省** Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism  
Press Release  
「世界の北海道」を目指して  
－北海道総合開発計画－

平成30年8月9日

### 厚真ダムの対応について（第二報）

北海道開発局では、8月6日に発生した平成30年北海道胆振東部地震により土砂が流入した厚真ダムにおける応急復旧作業を行っております。

8日に作業したダムの保護シート張りは現ね完了しました。また、余水位内に入り込んだ倒木を取り除く作業を行いました。

9日は、天気の様子をみながら、余水位内の倒木や土砂を取り除く作業を進めます。



切断した倒木を搬出      ダム保護シート張りを現ね完了

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311  
農水産部 農業設計課 農業企画官 伊藤 久司（内線 5552）  
北海道開発局ホームページ <http://www.lkt.mlit.go.jp>

**国土交通省** Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism  
Press Release  
「世界の北海道」を目指して  
－北海道総合開発計画－

平成30年8月9日

### 9月10日(月)の大型 済 漢 柴油回収船「白山」による入浴・洗濯・給水支援について

～平成30年北海道胆振東部地震に関する被災地支援～

北海道開発局所属の大型液体石油回収船「白山」は、9月10日(月)を吉小牧港東港において柴油船の皆さんへの入浴・洗濯・給水支援を実施します。  
開始時間は11:30を予定しておりますが、開始を早められるよう調整中です。変更があった場合は改めてお知らせします。  
なお、支援場所が9日(日)から変更されておりますのでご注意ください。

1. 種所  
吉小牧港東港 周文ふ頭 9m岸壁（吉小牧港東港フェリーターミナル棟）（別図参照）

2. 入浴・洗濯・給水支援  
以下のとおり、入浴・洗濯・給水支援を行います。なお、船内は狭隘部、段差が多く存在するため、介助が必要な方、お子様単独での利用は困難な状況です。ご理解賜りますようお願い申し上げます。

- 利用日：9月10日(月)
- 入浴支援：一回の入浴は約5名同時可能です。下記時間帯に男女別の入替え制となります。
- 利用時間 11:30 ~ 12:30 女性（受付時間 11:20 ~ 14:00）  
12:30 ~ 13:15 男性  
13:15 ~ 14:15 女性  
14:15 ~ 15:00 男性
- 洗濯支援：4台の洗濯機を交代で使用できます。  
利用時間 11:30 ~ 14:00  
※入浴支援よりも終了時間が早く指定されています。
- 給水支援：給水用の容器を各自にてご持参ください。  
利用時間 11:30 ~ 15:00

3. 注意事項

- 11日出港の予定については、改めてお知らせいたします。
- 北海道開発局のTwitterでもお知らせしています。  
Twitterアカウント：[https://twitter.com/mhlw\\_tohoku](https://twitter.com/mhlw_tohoku)
- 水切れや運航規制により、支援活動を中断・中止する場合があります。
- 運航次回により、お待ちいただけないことがあります。
- 備えつけられているシャンプー・コンディショナー・ボディーソープをご利用いただけます。
- 携帯電話の充電を行うことが可能です。
- 入浴・洗濯のご利用は受付料の先着順となります。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311  
港湾空港部 空港・防災課 課長補佐 白色 篠原（内線 5632）  
港湾空港部 空港・防災課 防災情報係長 鈴木 康津（内線 5609）  
<http://www.lkt.mlit.go.jp>

**別紙**

### 大型 済 漢 柴油回収船「白山」の支援場所

吉小牧港東港 周文ふ頭 フェリーターミナル横で入浴・洗濯・給水支援を実施します。



吉小牧港東港 周文ふ頭 9m 岸壁  
(フェリーターミナル棟)

出展：国土地理院ホームページ

## 参考資料

**国土交通省**  
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

「世界の北海道」を目指して  
－北海道開発局開業計画－

平成30年 9月 9日

**全国のTEC-FORCEが道内各地で災害支援活動！！**

平成30年北海道胆振東部地震に伴い、下記のとおり北海道開発局及び地方整備局（東北・関東・北陸・中部・四国）のTEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）が、道内各被災地で災害支援活動を行っております（9月9日現在、北海道開発局60名、5地方整備局100名の計160名）。  
活動状況については、北海道開発局ホームページで随時紹介していきます。

厚真町	被災状況調査班(河川)	4名
厚真町	被災状況調査班(砂防)	4名
厚真町	被災状況調査班(道路)	8名
小計		20名
北陸地方整備局	先遣班	3名
福井地方	被災状況調査班	8名
滋賀地方	被災状況調査班(道路)	8名
滋賀地方	応急対策班	2名
滋賀地方	緊急物資輸送・入浴	4名
小計		25名
中部地方整備局	先遣班	4名
滋賀地方	被災状況調査班(道路)	8名
滋賀地方	被災状況調査班(砂防)	8名
滋賀地方	応急対策班	6名
滋賀地方	応急対策班	3名
小計		29名
四国地方整備局	宮小牧(宮中央管理行ヶ崎)	3名
地方整備局合計		100名
合計		160名

<参考>

TEC-FORCE:Technical Emergency Control Forceの略。  
大規模自然災害が発生し、又は発生するおそれがある場合に、迅速かつ迅速に災害対応の支援を行うことを目的に、被災した地方公共団体等に国土交通省のエキスパートを派遣するものです。

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311  
事務振興部 防災課 防災企画官 横濱 秀明（内線5964）  
事務振興部 防災課 総務課長 鈴木 達也（内線5944）  
北海道開発局ホームページ <http://www.mlit.go.jp/>





### ■ TEC-FORCE活動状況

**国土交通省**  
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism  
「世界の北海道」を目指して  
—北海道総合開発計画—

Press Release  
平成30年 9月10日

**平成30年北海道胆振東部地震で発生した液状化被害等に  
関して専門家を派遣します**

平成30年9月6日に発生した北海道胆振東部地震によって、札幌市で発生した下水道、道路、建物の液状化被害等に関する調査をするため、下水道、道路、建築、土質の専門家からなる調査団を派遣します。

1. 調査団メンバー

○国土交通省 國土技術政策総合研究所  
下水道研究室 下水道研究室  
室長 岩崎 宏和 (いわさき ひろかず)  
同 研究官 川島 弘康 (かわしま ひろやす)  
道路構造物研究部路基基礎研究室  
室長 渡邊 一弘 (わたなべ かずひろ)  
同 主任研究官 木村 一幸 (きむら かずゆき)  
道路構造物研究部路地防災研究室  
研究員 石井 洋輔 (いしい ようすけ)

○土木研究所 地質・地盤研究グループ  
土質運動チーム  
同 上席研究員 佐々木哲也 (ささき てつや)  
研究員 谷本 後輔 (たにもと しゅんすけ)  
○建築研究所 材料研究グループ  
構造研究グループ  
研究員 上原 勝大 (とうもと かつひろ)  
研究員 平出 修 (ひらで つとむ)  
合計9名

2. 派遣日  
平成30年9月10日(月)

3. 派遣先  
北海道札幌市

4. その他  
現地調査への同行はご遠慮願います。  
取材(報道対応)は、14時に平岡公園第1駐車場(住所:札幌市清田区平岡公園2)で行います。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 電話(代表) 011-709-2311  
事務振興部 都市住宅課 課長補佐 谷 聰 (内線 5892)  
北海道開発局ホームページ <http://www.hdm.mlit.go.jp/>

H30年9月10(月) 札幌市清田区 平岡公園第1駐車場  
報道後報道対応場所: 平岡公園第1駐車場

**国土交通省**  
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism  
「世界の北海道」を目指して  
—北海道総合開発計画—

Press Release  
平成30年 9月11日

**川崎港東鳳島地区基幹的広域防災拠点より被災地への救援物資を輸送**  
(平成30年北海道胆振東部地震関連)

平成30年北海道胆振東部地震の被害による被災地支援のため、川崎港東鳳島地区期間的広域防災拠点において、防衛省がP F1方式により契約している民間船「はくおう」に関東地方整備局の飲料水及び非常食料(450箱)等を積み込みました。  
なお、「はくおう」は9月11日(火)10:00に川崎港を出港し、9月12日(水)14:45に苫小牧港西港区に入港予定です。

※また、関東地方整備局からも同時プレスが発表されております。詳細は別紙ご参照ください。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 電話(代表) 011-709-2311  
港湾空港部 港湾計画課 課長補佐 古屋 武志 (内線 5814)  
北海道開発局ホームページ <http://www.hdm.mlit.go.jp/>

**国土交通省 関東地方整備局**  
平成30年 9月11日(火)  
国土交通省関東地方整備局  
港湾空港部

**記者発表資料**

**平成30年北海道胆振東部地震関連**  
川崎港東鳳島地区基幹的広域防災拠点より救援物資を輸送

平成30年北海道胆振東部地震による被災地支援のため、川崎港東鳳島地区基幹的防災拠点において、防衛省がP F1方式により契約している民間船「はくおう」に関東地方整備局の飲料水及び非常食料(450箱)等を積み込みました。  
なお、「はくおう」は9月11日(火)9:40に川崎港を出港し、9月12日(水)14:45に苫小牧港西港区に入港予定です。

川崎港の基幹的広域防災拠点は、首都直下地震発生時において、支援物資の輸送等の拠点(詳細別紙)として機能するものであり、この度、北海道の被災地支援としても利用されました。なお、川崎港基幹的広域防災拠点の耐震岸壁を利用した船艤による直接輸送は訓練以外では今回が初めてとなります。

発表記者クラブ
竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、横浜海事記者クラブ
問い合わせ先
関東地方整備局 港湾空港部 首都圏臨海防災センター長 高谷 浩一郎(たかや こういちろう) TEL:044-281-2330 FAX:044-281-2391
関東地方整備局 港湾空港部 港湾空港防災・危機管理課 課長 佐野 伸保(さの ゆきほ) TEL:045-211-7421 FAX:045-211-0219



【川崎港東扇島地区基幹的広域防災拠点における飲料水及び非常食料の積込状況】



【川崎港耐震強化岸壁における民間船舶「はくおう」へのトラック搬入状況】



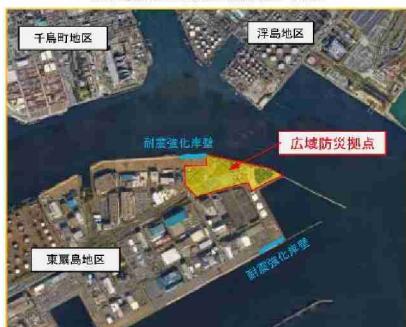
【陸上自衛隊東部方面総監部輸送団への飲料水及び非常食料の引渡状況】

#### 川崎港東扇島地区基幹的広域防災拠点の概要について

関東地方整備局が管理する本施設は、耐震強化岸壁を備えた政府の基幹的広域防災拠点として、首都直下地震等の災害発生時に被災地への緊急支援物資の海上輸送、河川輸送、陸上輸送等への中継基地や広域支援部隊等の一時収容地・ベースキャンプとして位置づけられています。

平時においては、川崎市内唯一の海滨を有する「東扇島東公園」として、市民に親しまれています。

川崎港東扇島地区基幹的広域防災拠点 位置図



【耐震強化岸壁における緊急物資輸送訓練の様子】

大規模地震時に岸壁上に跳落等が発生したとしても迅速に緊急物資を輸送できるようするために「救援舟」の搬出訓練

**国土交通省**  
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism  
「世界の北海道」を目指して  
-北海道総合開発計画-

Press Release  
平成 30 年 9 月 13 日

**被災地へ飲料水及び非常食料（460箱）の支援物資を輸送しました**  
(平成30年北海道胆振東部地震関連)

北海道開発局は、平成30年北海道胆振東部地震の被害による被災地支援のため、関東地方整備局が川崎港東扇島地区基幹的広域防災拠点等に備蓄していた飲料水及び非常食料（460箱）等の支援物資が、防衛省がPP方式により契約している民間船「ほくおう」により輸送され、9月12日（水）13:30に苫小牧港に到着しました。

北海道開発局では、陸上自衛隊の協力の下、苫小牧港へ運び込まれた支援物資を当日のうちに、安平町、厚真町、日高町の3町の被災地へ輸送いたしました。

○支援物資の概要

- ・安平町：ごはん40箱（1箱30食入り）、おかず40箱（1箱50食入り）
- ・厚真町：水24120箱（1箱6本入り）、水500ml150箱（1箱24本入り）
- ・日高町：水2850箱（1箱6本入り）、水500ml120箱（1箱24本入り）、ごはん70箱（1箱30食入り）、おかず70箱（1箱50食入り）

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311  
港湾空港部 港湾計画課 課長 松良 稔三（内線 5611）  
北海道開発局ホームページ <http://www.mlit.go.jp/tdk/jsp/>

**平成30年北海道胆振東部地震の被災地（安平町、厚真町、日高町）への支援物資輸送の状況**




岸壁前面での陸上自衛隊隊員との打ち合わせの様子  
安平町への支援物資の荷下ろし状況




苫小牧港面での陸上自衛隊隊員との打ち合わせの様子  
日高町への支援物資の荷下ろし状況  
安平町への支援物資の引渡し状況

**平成30年北海道胆振東部地震の被災地（安平町、厚真町、日高町）への支援物資輸送の状況**




厚真町への支援物資の荷下ろし状況  
日高町への支援物資の荷下ろし状況




厚真町への支援物資の引渡し状況  
日高町への支援物資の引渡し状況

国土交通省  
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

「世界の北海道」を目指して  
－北海道総合開発計画－

平成30年9月13日

### 厚真ダムの対応について（第四報）

北海道開発局では、9月6日に発生した平成30年北海道胆振東部地震により土砂が流入した厚真ダムにおいて応急復旧対策を行っております。

厚真ダムの状況についてお知らせします。

現在、ダムの貯水位は、毎日の放流により低下しています。

今後、降雨により、貯水位が上昇した場合でも、ダム余水吐から放流できます。余水吐は、水が全く流れないわけではありません。

【問い合わせ先】 国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311  
農業水産部 農業設計課 農業企画官 伊藤 久司（内線 5552）  
北海道開発局ホームページ <http://www.hid.mlit.go.jp/>

国土交通省  
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

「世界の北海道」を目指して  
－北海道総合開発計画－

平成30年9月13日

### 平成30年北海道胆振東部地震による轟川の緊急復旧工事について (終報)

24時間体制で実施してきた緊急復旧工事が、本日完了しましたのでお知らせいたします。

○水系名 轰川水系  
河川名 轰川  
被災箇所 ①左岸KPO. 6付近（勇払郡むかわ町沢見地先）  
②左岸KPO. 7付近（　　）  
③左岸KPO. 9付近（　　）  
④左岸KPO. 0付近（　　）  
被災状況 平成30年北海道胆振東部地震の影響による堤防崩壊・横断亀裂など  
工事内容 応急盛土、シート張り、護岸ブロック敷設など  
平成30年 9月 7日（金）10：30開始 緊急復旧工事完了。  
平成30年 9月 13日（木）16：00完了

【問い合わせ先】 国土交通省 北海道開発局 建設部 河川工事課 電話（代表）011-709-2311  
河川技術専門官 川邊 和人（内線 5317）  
河川改修第1係長 横内 英治（内線 5967）  
北海道開発局ホームページ <http://www.hid.mlit.go.jp/>

国土交通省  
北海道開発局

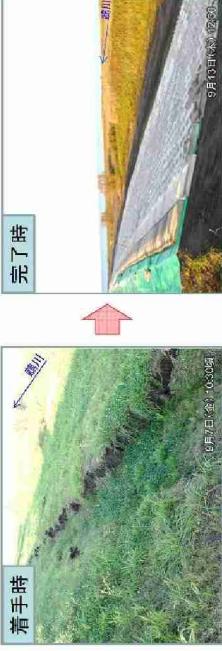
轟川水系轟川 ①左岸KPO. 6付近（勇払郡むかわ町沢見地先）の緊急復旧工事  
9月7日(金)10:30～9月13日(木)12:30 緊急復旧工事着手。  
9月13日(木)14:50～9月14日(金)0:00 緊急復旧工事完了。

工事状況(24時間体制による緊急復旧)

**鶴川水系鶴川 ②左岸K0.7付近（勇払郡むかわ町汐見地先）の緊急復旧工事 国土交通省 北海道開発局**

9月 7日(金)10:30 緊急復旧工事着手。  
9月13日(木)12:30 緊急復旧工事完了。

着手時



完了時



工事状況(24時間体制による緊急復旧)



**鶴川水系鶴川 ③左岸K0.9付近（勇払郡むかわ町汐見地先）の緊急復旧工事 国土交通省 北海道開発局**

9月 7日(金)10:30 緊急復旧工事着手。  
9月13日(木)7:00 緊急復旧工事完了。

着手時



完了時



工事状況(24時間体制による緊急復旧)



**鶴川水系鶴川 ④左岸K2.0付近（勇払郡むかわ町汐見地先）の緊急復旧工事 国土交通省 北海道開発局**

9月 7日(金)10:30 緊急復旧工事着手。  
9月13日(木)16:00 緊急復旧工事完了。

着手時



完了時



工事状況(24時間体制による緊急復旧)



## 参考資料

**国土交通省**  
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism  
「世界の北振興」を目指して  
～北洋漁業振興計画～

Press Release  
平成 30 年 9 月 13 日

**大型漁業兼油回収船「白山」による重油支援を行います**

～平成 30 年北海道胆振東部地震に関する被災地支援～

北陸地方整備局所属の大型漁業兼油回収船「白山」(はくさん)は、9月14日(金)に自船の燃料油(A重油)の一部を災害包括協定<sup>※1</sup>に基づき、日本漁立漁業協会北海道支部の協力により、被災地に以下のとおり輸送いたします。

※1 正式名称：災害発生時にかかる港湾施設等の整備的・応急的対策事業に関する包括的協定

1. 輸送実施  
以下のとおり、「白山」からの重油を日本漁立漁業協会北海道支部の協力により陸上輸送します。

日 時：9月14日(金) 10:00～ 「白山」からタンクローリーへ積替え  
13:00～ 被災地に向け出発

場 所：苫小牧港東港区 周文ふ頭 -3m岸壁  
(苫小牧港東港フェリーターミナル棟) (別図-1参照)  
支援先：むかわ町 道の駅「四季の駆」(提供量：10t)  
函川高等学校(函川三気塾)(提供量：1.5t) (別図-2参照)

※支援状況写真データは提供可能ですので、下記までお問合せ願います。

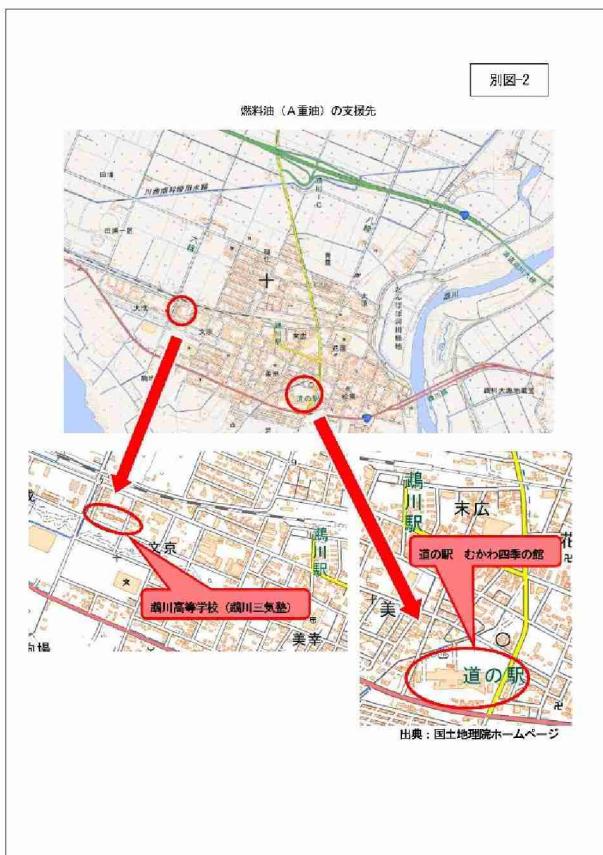
【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 電話 (代表) 011-709-2311  
港湾空港部 空港・防災課 課長補佐 白色 誠志 (内線 5632)  
港湾空港部 空港・防災課 防災情報係長 鈴木 麟律 (内線 5669)  
<http://www.mlit.go.jp/>

**別図-1**

大型漁業兼油回収船「白山」の重油積み出し場所  
※苫小牧港東港 周文ふ頭 フェリーターミナル棟で重油積み出しを行います。

入浴支援場所、駐車場  
苫小牧港東港 周文ふ頭 -3m岸壁  
(フェリーターミナル棟)

出典：国土地理院ホームページ



Press Release

**国土交通省**  
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism  
「世界の北海道」を展開して  
—北海道開拓開発計画—

平成30年9月16日

**大型漁業兼油回収船「白山」による入浴・洗濯・給水支援終了のお知らせ**

～平成30年北海道胆振東部地震に関する取組～

北陸地方警備局所属の大型漁業兼油回収船「白山（はくさん）」が、苫小牧港東港区で実施していた被災地の皆さんへの入浴・洗濯・給水支援を終了しました。

1. 入浴支援終了の概要  
白山が苫小牧市で実施してきた入浴・洗濯・給水支援については、本日9月16日（日）をもって終了し、以下のとおり被災者の皆様にご利用いただきました。  
白山による入浴・洗濯・給水支援の実績に当たり、多くの関係者の皆様から、ご支援・ご協力をいただき、誠にありがとうございました。被災地の一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。  
北海道開拓局は引き続き、復旧・復興のため全力で対応して参ります。

○支援内容  
 - 入浴支援 : 123人  
 - 洗濯支援 : 56回  
 - 給水支援 : 32,113L (284ドロ H16.056本分)  
 - 重油支援 : 71.86L (0.6才桶) (送油地 : )  
 - 支援物資 : 飲料水 500ml バッグ 3,334本 , 1,500ml バッグ 248本 , 2,000ml バッグ 498本  
 非常食等 約3,000食



【問合せ先】国土交通省 北海道開拓局 電話（代表）011-709-2311  
港湾空港部 空港・防災課 課長補佐 白色 徳彦（内線 5632）  
港湾空港部 空港・防災課 防災情報係長 鈴木 康洋（内線 5669）  
北海道開拓局ホームページ <http://www.ted.mlit.go.jp/>

Press Release

**国土交通省**  
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism  
「世界の北海道」を目指して  
—北海道開拓開発計画—

平成30年10月2日

**「厚真川水系土砂災害復旧事業所」の設置について**

～平成30年北海道胆振東部地震に伴う土砂災害の対策に対し

効率的な実施に向けて体制を強化します～

北海道開拓局は、平成30年北海道胆振東部地震により北海道勇払郡厚真町を中心に発生した土砂災害に対し、新たに直轄で土砂災害対策を進めることから、その推進体制を確保するため、事業を担当する北海道開拓局箇箇頭発達部に「厚真川水系土砂災害復旧事業所」を設置します。  
事業所の開所にあたり、下記のとおり開所式を行いますのでお知らせいたします。

記

■ 厚真川水系土砂災害復旧事業所 開所式（事業所の看板の設置）  
日時：平成30年10月3日（水）11：00  
場所：室蘭開発部苫小牧河川事務所（苫小牧市字柏原32番地40）

以上

【問合せ先（事業所概要等）】  
国土交通省 北海道開拓局 電話（代表）011-709-2311  
建設部 河川計画課 河川企画官 斎藤 大作（内線 5292）  
建設部 河川計画課 河川計画管理官 三宅 洋（内線 5295）  
【問合せ先（事業所に關すること）】  
国土交通省 北海道開拓局 電話（代表）011-709-2311  
防災監理部 総務課 総務企画官 佐々木孝治（内線 5222）

北海道開拓局ホームページ <http://www.ted.mlit.go.jp/>

別紙

**厚真川水系土砂災害復旧事業所 開所式の概要**

■日 時：平成30年10月3日（水）11：00  
■所在地：苫小牧市字柏原32番地の40（苫小牧河川事務所）



**■その他**  
 ・構成員：厚真川水系土砂災害復旧事業所長 ほか  
 ・設置日：平成30年10月2日（火）  
 ・取材をご希望の方は、開所式当日、開始時間までお集まりください。

**国土交通省** Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism  
Press Release  
「世界の北海道」を目指して  
－北海道総合開発計画－  
平成30年10月2日

**厚真川水系日高幌内川において発生した大規模な河道閉塞について  
緊急的な砂防工事を実施します**

平成30年北海道胆振東部地震により厚真川水系日高幌内川において発生した大規模な河道閉塞について、緊急的な砂防工事及び工事のための調査を実施します。

今般の災害で、大規模な河道閉塞が発生した厚真川水系日高幌内川流域においては、この度、北海道知事から要望があったことを踏まえ、越流侵食による大規模な洪水被害を防止軽減するため、新たに国直轄による砂防工事を実施することとしました。  
監視・観測や、崩壊土砂の地質調査を行うとともに、水路工整備のための堆積土砂掘削などの緊急的な対策を進めます。

**【実施箇所・内容】**  
厚真川水系日高幌内川（北海道勇払郡厚真町）  
…監視・観測、地質調査、水路工整備のための堆積土砂掘削 等

**【問い合わせ】**  
国土交通省 北海道開発局 建設部 惠路（代表）011-709-2311  
河川工事課 課長特務 岩林 英樹（内線：5314）  
河川計画課 河川計画管理官 三宅 洋（内線：5295）  
北海道開発局ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp/>

**平成30年北海道胆振東部地震による緊急的な砂防工事を実施します**

平成30年北海道胆振東部地震による緊急的な砂防工事を実施します。

**新たに国直轄による緊急的な砂防工事を実施します**

平成30年北海道胆振東部地震による緊急的な砂防工事を実施します。

**【実施箇所】**  
北海道開発局 建設部 惠路（代表）011-709-2311  
河川工事課 課長特務 岩林 英樹（内線：5314）  
河川計画課 河川計画管理官 三宅 洋（内線：5295）  
北海道開発局ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp/>

**災害査定の概要**

台風、豪雨などの自然災害により、道路、河川などの公共土木施設が被害を受けた場合、被災した施設を管理する地方公共団体等は、施設の復旧を行うため所管する主務省（国土交通省）に国庫負担申請を行います。

申請を受けた国土交通省は、被災現地に災害査定官を派遣し、現地の状況を調査のうえ、災害復旧事業費の決定作業（査定）を行います。

北海道財務局は、財政を所管する財務省の立場から、災害査定官が被災現地で行う査定に立ち会い、復旧事業計画が現地に即応したものになっているか、法律等に沿ったものとなっているか等の観点から、規模、工法等を確認します。

**【根拠法令】**  
◆公共土木施設「公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法」

**別紙2**

北海道胆振東部地震に係る災害復旧事業の査定の現地取材について

10月10日(水)から実施する公共土木施設の災害査定のうち、下記について、報道機関の皆様に公開しますのでご案内します。

記

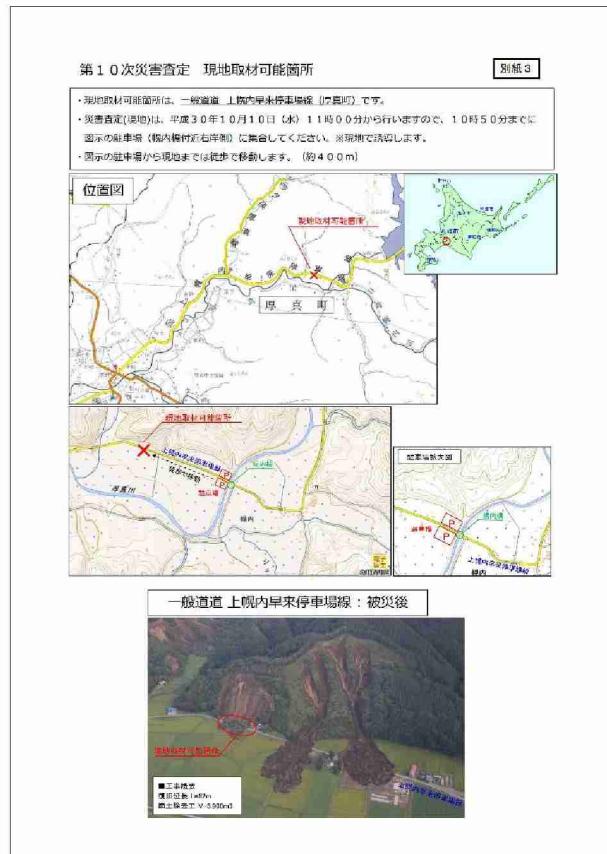
1 災害査定の日時など

(1) 日時  
平成30年10月10日(水) 11時00分～  
※10時50分までに駐車場へ集合いただき、徒歩で現地までご案内します。

(2) 場所  
一般国道 上幌内早来停車場線(厚真町)  
※現地案内図等は、別紙3のとおり。

2 取材時のお願い等

- ・災害査定の現地により査定時間が異なり、事前にお知らせすることが難しく、円滑に災害査定を実施するため、公開する現地は、1か所とさせていただきますことをご了承ください。
- ・災害査定官及び立会官の氏名などを記載した資料は当日配布いたします。
- ・カメラ撮影については、査定箇所の申請者からの概況説明及び査定後に災害査定官のコメントがありますので、原則、これら時間に限られますが、査定中は事務局が指定した場所からの遠景のみ撮影可といたします。
- ・災害査定官及び立会官へのご質問は、査定業務の円滑な遂行に支障を來すおそれがありますので、ご遠慮いただけようお願いいたします。なお、災害査定に関するご質問について、査定後、事務局で受付いたします。
- ・災害査定の現地は、足元が悪いため、取材に当たっては十分ご注意ください。また、危険な場所もあることから、被災箇所への入り口をご遠慮いただくことがあります。
- ・当日取材を希望される方は、駐車スペース等の都合により、10月9日(火)10:00までに、別紙4の申込書にてFAXでご連絡をお願いいたします。



**【FAX用紙】**

**別紙4**

北海道開発局 河川工事課 河川技術対策室 完て  
(FAX 011-709-2144)

**申込書（報道関係者）**

平成30年北海道胆振東部地震に係る災害復旧事業の査定について、現地取材を希望する場合は、本様式により、上記宛先までFAXでご連絡ください。

ご連絡は、10月9日(火)10:00までにお願いします。

■会社名及び部署名

■取材者 役職・氏名（全員の役職・氏名を記載願います）

①（代表者） \_\_\_\_\_  
② \_\_\_\_\_  
③ \_\_\_\_\_

■テレビカメラ持込みの有無（該当するものに○をつけてください）  
有・無

■連絡先（代表者の連絡先）

【注意事項】  
 ① 査定場所にお越しの際は、現地担当者の指示に従ってください。  
 ② 取材に当たっては、必ず社名入りの鉛筆を着用願います。  
 ③ 撮影は、別紙2のとおり、査定作業に支障のない範囲でお願いします。